**関東甲信越静地区国際教育研究協議会**

**第３８回高校生英語弁論大会　地区代表選考要項**

１．各都県の事務局は、各都県の代表生徒１名を選考し、代表生徒の指導教諭がＤＶＤ、弁論原稿、和文要旨、申込用紙（別紙）を下記申し込み先に送付すること。ＤＶＤには必ず、弁論の表題・出場者氏名・在籍学校名・都県名を明記したラベルを貼ること。送付用に収録する弁論は、都県大会実施後に代表生徒在籍高等学校で録画しＤＶＤに収録したものとする。なお、収録にあたり以下の点に注意をすること。

1. 在籍学校内で、専用の機器を使用して撮影すること。（映像や音声の質を確保するため、スマホなどは不可とする。）
2. 弁論発表をはじめる前に、在籍学校名、出場者氏名、表題を述べること。その後３～５秒程度の時間を空け、弁論発表を開始すること。
3. 教卓または演台の前に立ち、上半身のみ（胸から上）が映る状態で撮影し、過度な身振り手振りは行わないこと。（弁論大会審査用の映像であって、いわゆるプロモーション映像ではないことを明確にすること。）
4. 当該生徒の弁論以外の音声が入らないよう注意すること。
5. 絶対に編集をしないこと。
6. 再生及び審査にあたって、ＤＶＤの保存は**ＷＡＶ形式**で行う。ＤＶＤで保存後、他の機器でも再生できることを確認すること。なお、ブルーレイ形式での保存はしないこと。

２．弁論原稿（和文の要旨を含む）はＡ４判とし、以下の通り作成すること。また、別紙①の申込書に必要事項を記入し同封すること。

1. 弁論原稿は「Ｗｏｒｄ」で作成し、書式はＡ４版縦方向で、全角40字（半角80字）×40行、英文はCentury、和文要旨はMS明朝、文字サイズは11ポイントとすること。
2. １行目に表題（英語または日本語）を左詰めで、２行目に都県名・在籍学校名（略称不可）・学年・出場者氏名を日本語で明記すること。
3. 氏名等の行から1行あけて発表原稿を記載すること。その後、1行あけて発表要旨を日本語で5行程度記載すること。
4. 「Ｗｏｒｄ」ファイルは、「英語弁論原稿・都県名・生徒氏名」とすること。
5. 弁論原稿はＤＶＤに同封するとともに、下記アドレスにもE-mailにて添付ファイルで送付すること。

　送付先E-mailアドレス：tobenron@jafie.jp

送付件名：　関東甲信越静地区　英語弁論原稿（都県名・学校名）

３．弁論内容、弁論時間、審査項目、審査基準等は、全国大会のものを適用する。審査は、ＤＶＤに収録された音声および映像によって行う。

４．審査員は３名とし、関東甲信越静地区事務局が審査員を選定し依頼する。

５．各都県からの申込期限（ＤＶＤ・原稿等の送付期限）は、**平成３０年６月２１日（木）必着**とする。

６．選考は、平成３０年６月３０日（土）東京都立練馬工業高等学校にて行う。

詳細については、出場生徒の指導教師および各都県の事務局長に通知する。選考の傍聴希望者は、事前に地区事務局にE-mailにて申し込むこと。申込多数の場合は、会場準備の都合上先着順とする。

＜選考結果について＞

１． 選考結果は、平成３０年７月２日（月）までに各都県事務局長および出場生徒指導教師あてに、E-mailにて通知する。ただし、全国大会出場生徒の指導教師または当該校の管理職あてには、選考会終了後直ちに通知する。

２．選考に通った生徒は、第55回全国大会（平成30年8月、東京都JICA地球ひろば）に出場する。

全国大会出場生徒は、原稿等に修正等がある場合は、**平成３０年７月６日（金）必着**で、以下の担当にE-mailで送付する。

弁論大会担当；小林源地（東京都立練馬工業高等学校）

〒179-8909　東京都練馬区早宮2丁目9番18号

 　　 Tel；03-3932-9251

　　 　　E-mail； tobenron@jafie.jp

**関東甲信越静地区国際教育研究協議会**

**第１８回高校生日本語弁論大会　地区代表選考要項**

１．各都県の事務局は、各都県の代表生徒２名を選考し、代表生徒の指導教諭がＤＶＤ、弁論原稿、申込用紙（別紙）を下記申し込み先に送付する。ＤＶＤには必ず、弁論の表題・出場者氏名・在籍学校名・都県名を明記したラベルを貼ること。送付用に収録する弁論は、都県大会実施後に代表生徒在籍高等学校で録画しＤＶＤに収録したものとする。なお、収録にあたり以下の点に注意をすること。

1. 在籍学校内で、専用の機器を使用して撮影すること。（映像や音声の質を確保するため、スマホなどは不可とする。）
2. 弁論発表をはじめる前に、在籍学校名、出場者氏名、表題を述べること。その後３～５秒程度の時間を空け、弁論発表を開始すること。
3. 教卓または演台の前に立ち、上半身のみ（胸から上）が映る状態で撮影し、過度な身振り手振りは行わないこと。（弁論大会審査用の映像であって、いわゆるプロモーション映像ではないことを明確にすること。）
4. 当該生徒の弁論以外の音声が入らないよう注意すること。
5. 絶対に編集をしないこと。
6. 再生及び審査にあたって、ＤＶＤの保存は**ＷＡＶ形式**で行う。ＤＶＤで保存後、他の機器でも再生できることを確認すること。なお、ブルーレイ形式での保存はしないこと。

２．弁論原稿はＡ４判とし、以下の通り作成すること。また、別紙②の申込書に必要事項を記入し同封すること。

① 弁論原稿は「Ｗｏｒｄ」で作成し、書式はＡ４版縦方向で、全角40字×40行、英文はCentury、和文はMS明朝、文字サイズは11ポイントとすること。

② １行目に表題（日本語）を左詰めで、２行目に都県名・在籍学校名（略称不可）・学年・出場者氏名を日本語で明記すること。

③ 氏名等の行から1行あけて発表原稿を記載すること。

④ 「Ｗｏｒｄ」ファイルは、「日本語弁論原稿・都県名・生徒氏名」とすること。

⑤　弁論原稿はＤＶＤに同封するとともに、下記アドレスにもE-mailにて添付ファイルで送付すること。

　送付先E-mailアドレス；tobenron@jafie.jp

送付件名：　関東甲信越静地区　日本語弁論原稿（都県名・学校名）

３．弁論内容、弁論時間、審査項目、審査基準等は、全国大会のものを適用する。

４．審査員は３名とし、関東甲信越静地区事務局が審査員を選定し依頼する。

５．各都県からの申込期限（ＤＶＤ・原稿等の送付期限）は、**平成３０年６月２１日（木）必着**とする。

６．選考は、平成２９年６月３０ 日（土）東京都立練馬工業高等学校にて行う。

詳細については、出場生徒の指導教師および各都県の事務局長に通知する。選考の傍聴希望者は、事前に地区事務局にE-mailにて申し込むこと。申込多数の場合は、会場準備の都合上先着順とする。

＜選考結果について＞

１． 選考結果は、平成３０年７月２日（月）までに各都県事務局長および出場生徒指導教師あてに、E-mailにて通知する。ただし、全国大会出場生徒の指導教師または当該校の管理職あてには、選考会終了後直ちに通知する。

２．選考に通った生徒は、第55回全国大会（平成30年8月、東京都JICA地球ひろば）に出場する。

全国大会出場生徒は、原稿等に修正等がある場合は、**平成３０年７月６日（金）必着**で、以下の担当にE-mailで送付すること。

弁論大会担当；小林源地（東京都立練馬工業高等学校）

〒179-8909　東京都練馬区早宮2丁目9番18号

 　　 Tel；03-3932-9251

　　 　　E-mail； tobenron@jafie.jp